

ふるさと探訪

県指定重要文化財（彫刻）

木造阿弥陀如来立像

一 軀



像高 五二・三センチメートル

ヒノキ材の寄木造、前後二枚両肩はぎ合せ、頭部は、首柄で差し込む。漆箔で玉眼を嵌入している。

面部は温容、低い肉髻、螺髪はやや大きく、一列目は下方を向き、耳朶の張りもよい。両肩、両膝、袖部のまとめには、安阿弥風の影響がみられる。

胎内裳裾部に、「奉迎□文永元年（二二六四）才次 八月十五日公慶」の銘文があり、鎌倉中期を降らない慶派の作であることを明らかにしている、貴重である。

なお、台座・光背は後補である。

この像は、昭和十九年七月六日重要美術品に認定されている。

所在地 いわき市四倉町玉山字牧ノ

下五十三番地

所有者 恵 日 寺